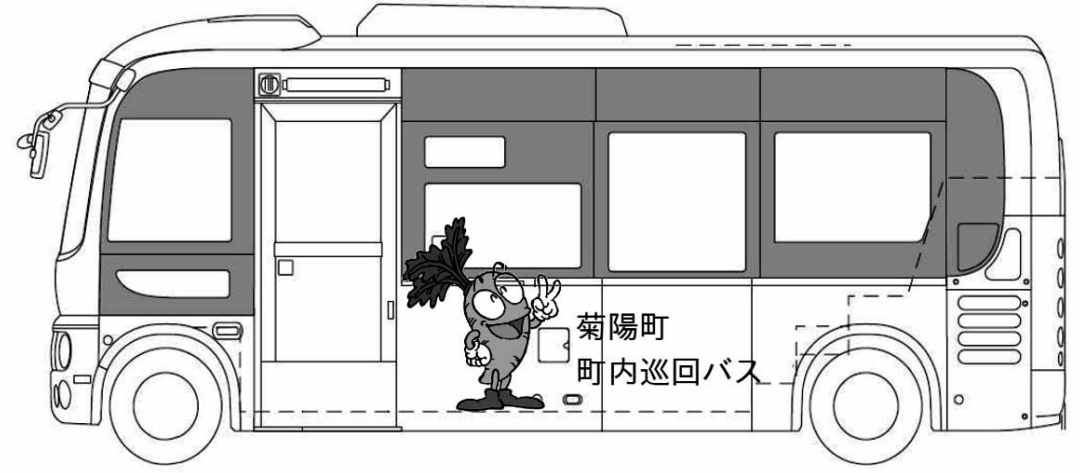


平成14年から運行してきた町内巡回バスがこの秋変わります。



▲新しい巡回バスのイメージ図

10月1日(火)から運行開始

※新しいルートとダイヤは、9月下旬に各家庭へ配布します。

巡回バス再編のポイント

平成14年から開始した町内巡回バスは、平成19年に現在のルートとダイヤに見直ししましたが、それ以来変更することなく運行してきました。巡回バスを再編するため、平成24年1月に実施したアンケートやその後の追加調査で問題点を探ってきました。その結果、現在の巡回バスは、
①便数が少ない
②帰りの便がない
③行きたい場所に行かない
 の3点が主な問題点であり、これを解消するように再編することにしました。

主な改善点

今回の見直しでは、住民の生活に

主な変更点

	新ルート	旧ルート
系統数	6系統	7系統
運行日数	各地区週3日以上	各地区週2日
便数	1日3～8便 (バス停によっては15便以上)	1日2～4便
料金	1回100円均一	1回100円均一
回数券	6枚つづり500円	なし

利用して守る公共交通

今後は利用状況に応じて随時見直しを行います。多くの利用があれば維持・増便ができますが、利用が少なければ減便することもあります。公共交通は自分が移動するための「足」です。みんなで利用することで守っていきましょう。

出前講座を行います

新しい巡回バスの説明に伺います。詳しくは、総合政策課へお問い合わせください。

菊陽中部小学校が完成しました



1新校舎「菊陽中部小学校」2光が差し込み、木の温もりいっぱいの教室 3屋上にある開放的なプール 4新校舎に喜びでいっぱいの子供 5あいさつをする松本彩伽さん 6登んだ歌声を披露する中部小学校合唱部の皆さん

喜びにあふれた落成式

菊陽中部小学校(児童数758人)の新校舎が完成し、8月8日に多目的室で関係者約200人が出席して落成式が行われました。

後藤町長は「2学期から新校舎で児童を迎えることができます。勉学に勤しむ児童の姿を思うと感激もひとしおです。これは、町民の皆さんの深い理解や地主の協力、町議会、関係者の皆さんの支援でなし得たもので、深く感謝します」とあいさつ。その後、大塚町議会議長があいさつを述べ、町長から用地提供者や寄贈

者、建設検討委員、工事関係者に感謝状が贈られました。来賓の岩村浩一熊本県菊池教育事務所長、坂本哲志総務副大臣衆議院議員、東充美県議会議員、荒木耕治屋久島町長も順にあいさつしました。

合唱部6年生の松本彩伽さんは「新校舎の工事が始まって2年がたち、ようやく私たちの校舎が完成しました。今日初めて校舎に入りました。全てが驚きでした。入った瞬間、木の香りがして広々とした空間が広がっていました。屋上にあるプールはきれいでリゾート施設にいるようでした。教室は明るくて楽しく勉強ができそうです。全てが夢のような学校です。私たちはこの校舎を大切にしていきたいと思っています」と新校舎で学ぶ喜びを述べました。最後に、合唱部が校歌とNHK

合わせてルートやダイヤを大きく変更し、大幅に増便しました。

①行き先
主にさんふれあ(温泉)や菊陽町役場、町内の主な商業施設、医療施設を目的地としています。

②便数
1系統につき週3日以上・一日3～8便と大幅に増えて使いやすくなります。また、他の巡回バスや路線バスに乗り換えて、さまざまな場所に行けるようになります。

③回数券の導入
6枚つづり500円のお得な回数券を車内で販売します。

④新ルートとダイヤ
新しいルートとダイヤは、9月下旬に各家庭へ配布します。

木の香りでいっぱいの新校舎

平成16年度に実施した旧校舎の耐震診断の結果を受け、平成17年度から学校の耐震補強の検討や建て替え場所などを町議会と共に検討を重ねました。平成22年3月定例議会で現地建て替えが決定。平成22年度から現地建て替えを進めてきました。

新校舎の設計は、校区住民代表と学識経験者で構成された菊陽中部小学校建設検討委員会(委員長・牧野雄二熊本大学名誉教授)で基本的な方針を決定しました。新校舎は、鉄筋コンクリート造一部鉄骨造(3階建て一部4階建て)、北棟、中央棟、南棟、体育館棟の4棟が一体となった建物で、延べ床面積12,124平方メートル。体育館は体育館棟の3階に、プールは中央棟の屋上に配置されています。普通教室や廊下の壁には町有林から切り出したヒノキ材を多用。多目的室には姉妹都市の屋久島町が寄贈した屋久島地杉を床と腰壁に用い、バリアフリー対策も十分に整った施設となっています。

事業費は約3億3,000万円(7月31日現在)で、工事は平成23年12月から本格的に着手し、今年7月に新校舎が完成。2学期開始日の8月27日から授業を開始しています。